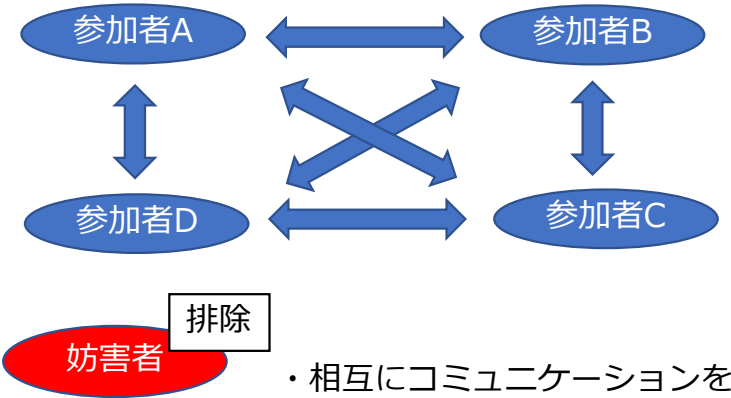


【相互監視による個人認証を付加した会議システム】

課題 2-1, 2-2:
東京工業大学 田中圭介, 小田拓也

解決すべき課題 ・ 厳密な認証を求めない多人数参加者による大規模双方向型遠隔会議への妨害防止	イメージ図  ・ 相互にコミュニケーションを行うと同時に相互に監視を行う ・ 大規模遠隔会議における参加者監視のためのコストの減少 ・ 不特定参加者を集めることに対する主催者の不安を軽減
解決手段・方法 ・ 既存のアプリケーションや、WebRTC (Web Real-Time Communication) といった標準技術を利用しつつ、プラグイン等として独自の暗号技術、ブロックチェーン技術を利用した非明示的な個人認証基盤の提供 【適用されるHarmo-wareモジュール】 ・ ログ解析モジュール、ブロックチェーン基盤モジュール	本技術のポテンシャル（有用性・国際的状況） ・ 遠隔会議に相互監視による非明示的な個人認証を導入しているものは知られていない
得られる価値 ・ 不特定多数の参加者が参加可能となる遠隔会議を妨害防止機能により比較的容易に開催可能	